

令和元年度 郡山ヘアメイクカレッジ 学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②金山 美弥子 あざみ美容院代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 学校長

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和元年 10月 7日 本校会議室

第2回委員会 令和2年 3月 23日 本校会議室

3. 学校関係者評価委員会報告

①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【令和元年度に定めた課題事項】

- 基本となるマナー 返事 あいさつが出来る。
- 学力、技術面における個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、美容業界で望む人材を育成する。
- 教職員のレベルアップとニーズにあわせた授業・カリキュラムの構築。
- 「夢プランシート」を作成させ、将来的な夢や目標をもたせる。

(1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

- ・接客業を目指す上での基本的な心構えが必要と感じる時がある。
- ・即戦力を目指してシャンプー強化接遇に力を入れているがシャンプーなど(サイド)できているか。
- ・業界の先生方のほしい人材の育成。
- ・返事あいさつが出来ない生徒が一部いる。やる気がある生徒とない生徒で差がある。
- ・基本となる返事あいさつの出来ない学生がいる。

②今後の改善方策

- ・授業イベントなどを通しあいさつ返事を徹底させる。目先の話だけでなく、将来像をふまえて美容業の話をし、やる気をださせる。
- ・学生達はサイドシャンプーが苦手なので強化したい。
- ・マナー、返事、あいさつなどの基本的なことをもっと根付けさせる。
- ・声を出させる。全体的に反応が薄い。

③特記事項

- ・個人的な希望として「一恋」など、現役の美容師の方たちとの交流も大切だと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

- ・改革をする予定で規定の見直しをしている。
- ・ホームページや履修集計システムに不備が多い。

②今後の改善方策

- ・新規程の内容
- ・システムの改善と自分の対応能力の必要性。

③特記事項

- ・以前よりは共有できるデータの利用がされてきていると感じる。
- ・令和2年度より新规定により運営予定。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1

・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・研修に関しては今の業務体制では時間をとることがなかなか難しいと思われる。
- ・日頃の雑務におわれ、指導力育成など研修等実施できない。
- ・今年度改正があった国家試験学科に対しての取り組み。
- ・学生が、より興味関心を示す様な授業にしていく。

②今後の改善方策

- ・事例、ニュース、課題に対しての話などを話す。
- ・国家試験学科全員合格を目指しての対策として、問題プリントの作成と実施で強化する。
- ・仕事効率をはかり、資質向上の研修を実施できるようにする。
- ・この年は1つこの研修をとり入れると決め計画し、学生が休んでいる期間を利用して日程を組む。(講師を招いてのもの)

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(4)学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・夢をもって卒業、頑張っている卒業生も多い中、離職する卒業生も少なくはない。
- ・通信教育生の退学者が多い。
- ・校内ガイダンスを行っているので卒業時の就職率は高いが、離職については把握していない場合が多い。
- ・退学率が増加傾向にある。
- ・どうしても退学してしまう生徒がいる。就職もしたくないという生徒がいる。

②今後の改善方策

- ・悩んでしまう前に気づき、相談に乗るようにする。就職への意欲を高めるために、美容業に関して経験をふまえて面談などする。
- ・仕事に対してなのか、学校生活なのか具体的に本人との相談、保護者との相談を強化していく。
- ・離職している卒業生の情報収集
- ・通信生に対しても個別に相談などを受けたり、サロンワークでのアンケートなどが実施できればと思う。
- ・卒業生による、在学生の講話など実施。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・退学者について美容師以外に興味が出た場合は個人の問題でありやむを得ない
- ・退学者について先生方の判断が難しいので本人の意向が大事である
- ・ヘアカラーやエステティックやまつ毛エクステーションなど技術者にならなくて出来るという間口の広さを示していく必要がある

(5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・卒業後の追跡調査
- ・進路、就職に関する支援体制は十分でも、学生本人が就職活動を拒む場合がある。
- ・気持的に弱い学生、進路に悩む学生、友達関係に悩む学生の支援。
- ・就職するにあたって、どのように行動して良いか、求人票の見方など、何もわからない生徒もいる。

②今後の改善方策

- ・関連のある運営管理や接遇マナーの授業も使って、生徒の理解力を高めるようにする。
- ・個人的に相談を受けられるよう、時間の調整が必要。
- ・各家庭にお便り等で通知する。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(6) 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

- ・防災ではないが、緊急に対応できるようAEDがあったら更に良いと思う。
- ・選択コースなど片寄りがあり、教室など割り振りが危惧される。

②今後の改善方策

- ・時間と労力はかかるが、分けて授業など。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(8) 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

・学生からの評価を初めて見れる機会なので、真摯に受け止め、しっかり対応していく。

・授業など自己評価の実施

②今後の改善方策

・国試対策でなかなか出来ないのが現状なので、時期的に早めの実施。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・授業でボランティア活動を行っているので、これからも機会あれば続けていくと良いと思う。

・今年度協力したヘッドネーションの活動などは、学生にとっても素晴らしい経験だったと思う。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし